

ディボーション質問表



30日 (月) ホセア書 13：1～16節 判決

1. 神の裁きが来る時、人はどのようにになりますか？ 絶望の中で人は何に気づかされると思いますか？
2. 14 節から神のどんな恵みの計画が読み取れるでしょうか？ またあなた個人への神の恵みの計画は何だと思えますか？
3. 福音を伝える時の鍵は何でしょう。この箇所から福音につながる真理は何だと思えますか？

31日 (火) ホセア書 14：1～9 イスラエルに対する祝福

1. 神様が悔い改めの祈りを教えています。どのようなものでしょうか（2～3節）？ 自分の祈りの生活に適応してみましょう。
2. 神様の道は正しいものにとってどのようなものでしょうか？ そむく者にとってはどうですか（9節）？
→ わたしの生活はどうでしょうか？ 平安でしょうか、試練がたくさんあるでしょうか？ 試練を神様の養育として感謝し、そこから学んでいますか？

2月1日 (水) ローマ人への手紙 1：1～17 序言

1. パウロは自分自身に対して、どのような者とされていると理解しているでしょう。またローマの人々に対する彼の思いを読んでどのように感じますか（1～15節）？
2. 福音にはどんな力がありますか（15～16節）？ 福音はなぜそれほど強力なのでしょう（17節）？ 自分自身の言葉で以下の言葉の意味を説明してみましょう。（a）信仰から信仰にいたらせる（に明らかにされる）（b）義人は信仰によって生きる。

2日 (木) ローマ人への手紙 1：18～32 異邦人の罪

1. 神様はなぜ復讐心は無信仰者と邪悪な者に向けたと思えますか（18～21節前半）？ 人が、神様を礼拝することを拒むとき、何が起るのでしょうか（21節後半～23節）？
2. 偶像崇拜がもたらす結果は何でしょう。私たちが生きている神様を礼拝しなければ、どのような死を神様は起こされるのでしょうか（24～32節）？ それらのものを避けましょう。

3日 (金) ローマ人への手紙 2：1～16 他人をさばく人の罪

1. はたして罪人は神の罰を乗り切ることができるのでしょうか？ 神は罪人に怒りを燃やしているにもかかわらず、なぜそれらの罪深い人々と一緒にいようと忍耐していらっしゃるのでしょうか（1～4節）？ 人が（ユダヤ人であろうと異邦人であろうと）自らの罪を悔い改めないとなぜ起るのでしょうか？ 律法は人が罪を知るためにあるのです！ それでは、律法を知らない者たち（異邦人）には何が起るのでしょうか？ 彼らは罪深いことを認識することができますか（12～16節）？
2. 最後の審判の日に、悔い改めないユダヤ人は、律法によって裁かれるでしょう。そして、異邦人は良心によって裁かれるでしょう。

4日 (土) ローマ人への手紙 2：17～3：8 ユダヤ人の罪

1. ユダヤ人への律法の機能を見つけましょう（17～20節）。多くのユダヤ人は自分たちが律法を持っていること、割礼（神の民である印）を受けていることを誇りに思っていますが、実際には律法を犯していました。どのように彼らは律法を犯していたのでしょうか（21～26節）？ それでは、本当の意味で「ユダヤ人」と呼ばれるのは誰でしょうか（27～29節）？
2. ユダヤ人のすぐれたところは何だと言われていますか（3：1～2）？ それがどうして素晴らしいことなのでしょう（4、6節）とくり返されていますが、「そんなこと」とはどのようなことなのか考えてみましょう。